



第3号議案

令和8年度 みやぎ自動車産業振興協議会 事業計画(案)

《取引情報収集・あっせんの方向性》

部品メーカー等を中心とした企業訪問等の実施により、取引情報等のニーズ把握や関係構築を図り、サプライチェーンに関する情報収集・分析を強化

県内・東北圏等からの発注ニーズの収集及び情報提供の強化

県内及び東北での受発注動向に対応した情報を収集するため、特に県内及び東北へ進出している企業への訪問活動を強化

取引ニーズ収集のためのサプライチェーン調査活動

県（自動車産業振興室、名古屋産業立地センター）のほか、みやぎ産業振興機構等と連携した企業訪問活動を展開

展示商談会事業(1)

受注獲得
取引創出

《完成車メーカー・大手部品メーカー向け展示商談会》

県内企業・大学と自動車業界とのさらなるマッチング機会の創出のため、
完成車メーカー・大手部品メーカーや関連企業等向けの展示商談会を開催

トヨタグループ 様向け展示商談会

[とうほく・北海道 新パートナー/新事業創生展示会]

期 日 令和9年1月21日(木)～22日(金)

場 所 刈谷産業振興センター あいおいホール (愛知県刈谷市)

昨年度に引き続き、新技術・新工法やCN、水素、電池、CASE、MaaS、宇宙、モータースポーツ、スマートシティなど「未来のモビリティ社会」の実現につながる技術の掘り起こしに注力

展示商談会事業(2)

受注獲得
取引創出

《その他の商談会》

県内企業の多岐にわたるマッチング支援ニーズに応えるため、商談会の開催及び展示商談会への合同出展の実施

みやぎ広域取引商談会 (みやぎ産業振興機構主催)

対面開催 期 日 令和8年6月16日(火) 12:30～18:30
場 所 仙台国際センター 展示棟

県単独展示商談会

対面開催 期 日 令和8年9月10日(木)・11日(金)
場 所 Astemo株式会社 佐和工場

カーボンニュートラル(CN)化推進事業

受注獲得
取引創出

《自動車関連産業におけるCN化推進》

県内自動車関連企業のCN化を支援し、取引の維持・拡大を図り、もって自動車関連産業の振興を図るもの。

CN化支援事業

①オンラインセミナーの開催

②訪問エネルギー診断・脱炭素化促進計画策定支援

- ・企業を訪問して一定期間の計測を行い、エネルギー使用やCO₂排出量を分析したうえで、省エネや低炭素化に向けた中長期的な具体策を提案

新規 ・R8年度より新たな取組として、CO₂削減目標に係る国際認証である中小企業版SBTに対する本認証の申請支援を実施

③過年度支援企業の実行支援

- ・R7年度に脱炭素化促進計画支援を受けた企業を中心に、計画の進捗状況確認や取組を進めるうえでの助言等を継続して行う

CN化設備導入支援事業

CN化に向けた脱炭素化促進計画を策定している企業を対象（想定：5社）に、計画に沿って導入する設備等の導入費用の一部を補助するもの。

【補助率：1/2 補助上限額：5,000千円/社】

研修・人材育成事業

人材創出
育成

《研修・人材育成の方向性》

- 設計・開発技術者の育成や、各企業の現場力向上に資する人材育成を支援する
- 学生向け事業により、自動車産業への関心を高め、将来の人材確保につなげる

拡充 自動車部品機能・構造研修事業 計3講座

最新電動車やハイブリッド車を教材として活用した研修を実施し、受講者の車両に対する理解を一層深めるとともに、新たな技術提案の創出につなげる。

K1講座 電動車研修1(令和8年8月中旬 産技センター)

K2講座 電動車研修2(令和8年10月上旬 産技センター)

K3講座 電動車研修3(令和8年12月上旬 産技センター)



教材車両

見直し みやぎカーインテリジェント人材育成センター事業 計5講座

学生の自動車産業に対する理解の向上や関心を高めるため、座学と実習を混合した研修を実施

現地での参加者を増やすための魅力向上の一環として、**講師との対話の時間**の新設、**AI自動運転の講座やバッテリー工場の見学プログラム**を導入

期間 令和8年8月3日(月)～8月28日(金)

会場 東北電子専門学校(仙台市)、花壇自動車大学校ほか



ロボットカー

新規 バッテリー人材育成事業 計6校

県内の工業関係高等学校を対象にバッテリー教育プログラムを実施

重点取組校2校(古川工業、白石工業):産業界との共同授業、工場見学

授業のみ実施校4校(県工業、気仙沼向洋、本吉響、仙台工業):教材を活用した授業



車載バッテリー

《セミナー開催の方向性》

自動車産業に関わる県内企業の関心が高いテーマ、今後の新規参入・取引拡大に資するテーマに関するセミナーを開催

自動車関連産業セミナー開催事業

【開催時期】

令和8年12月初旬（予定）

【想定されるテーマの例】

○ 次世代自動車関連

- ・ BEVの最新技術動向
- ・ 自動運転に関する最新動向 等

○ 取引拡大の支援・品質マネジメントに関するもの

- ・ 自動車業界の動向
- ・ IATF16949について 等

研修支援事業

人材創出
育成

《研修支援の方向性》

研修機関等が実施する研修、講師を招聘して実施する研修に係る費用の一部を助成（令和2年8月から、オンライン研修も助成対象とする補助金交付要綱の改正を実施）

自動車関連人材育成補助事業

県内中小企業の研修受講に関する補助
（1／2補助 上限50万円／社）

【研修実施機関の例】

- トヨタ東日本学園
- ポリテクセンター宮城 など

【想定される研修の分野】

- 自動車部品加工（プレス、成形など）
- 機械設備・治工具設計、金型製造 など

社員をスキルアップさせたい！とお考えの企業様へ

研修にかかる受講料・人件費・旅費を最大半分の補助！

令和8年度

宮城県自動車関連 人材育成補助金



県では、技術研修を実施する県内の中小企業を対象に、研修にかかる受講料・人件費・旅費を最大で半分補助します。

■どのような研修が補助対象となりますか？

自動車部品加工（プレス、成形etc.）や機械設備・治工具設計、金型製造・・・など、自動車関連産業に活用可能な専門的・実践的な技術・知識を学ぶ次の研修が対象です。

- ・ 従業員を外部の研修機関に派遣する研修
- ・ 外部講師を自社に招いて実施する研修
- ・ 先進企業にOJT形式で30日以上従業員を派遣する研修
- ・ 自社の従業員を対象としたオンライン研修

オンライン
研修
も補助対象！

■研修受講にかかるどの経費が補助対象となりますか？

研修受講にかかる以下の経費が補助対象となります。

補助対象経費の1／2以内（千円未満切捨て）で、1社あたり最大50万円補助いたします。

※予算がなくなり次第受付を終了します。

- ・ 研修の受講料 又は 外部講師へ支払う講師謝金
- ・ 研修受講社員の人件費のうち基本給（通算3日以上）の社外研修に限る）
- ・ 研修受講社員 又は 外部講師の交通費
- ・ 研修受講社員 又は 外部講師の宿泊費（1泊1万円以内）



自動車関連技術支援事業（1）

技術開発
技術力強化

《技術開発・技術力強化支援の方向性》

県内企業のQCD（品質・コスト・納期）対応力の向上、改善定着に向けて、集合研修や個別支援を通じた現場改善支援を継続するほか、AI・IoTやロボット等の導入による生産性・品質改善のための取組を促進

生産現場改善支援事業

- 集合研修の開催・個別支援の実施
- 生産性・品質改善のためのAI・IoTやロボット等の導入活用を目指す

【集合研修開催スケジュール（予定）】

■TPS基礎研修

（R8.4.9 県庁職員向け、R8.5.21 登米、R8.11.26 石巻、R9.2.25 栗原）

■ものづくり「改善」入門

（R8.6.25 大崎、R8.10.22 大河原）

■ロボットセミナー＋生産改善事例発表会（R9.2月中旬 産技セ）

自動車関連技術支援事業(2)

技術開発
技術力強化

《技術開発・技術力強化支援の方向性》

- 県内企業の開発力・提案力の向上を図り、自動車産業への新規参入・取引拡大を支援
- CASE 時代を踏まえた電動化・自動運転等の次世代技術に関する製品開発や取組を促進し、県内企業の技術開発や技術力の強化を図る

新技術・新工法研究開発促進事業

アドバイザー・TPCを運用し、新技術・新工法の研究開発に向けた企業の競争的資金の確保、展示商談会の出展支援のほか、製品開発・提案力向上のための製品開発支援を行う。

(製品開発企画・製品開発力強化講座) (講師: 細江AD、外部講師)

- T1講座 商品企画講座① (R8.7月中旬 産技センター)
- T2講座 材料系研修 (R8.10月中旬 産技センター)
- T3講座 商品企画講座② (R8.12月中旬 産技センター)

生産現場AI活用相互研鑽事業

技術開発
技術力強化

《技術開発・技術力強化支援の方向性》

- 生産現場におけるAI活用ノウハウの企業への展開及びAI人材育成の支援
- 産業技術総合センターが主体となり、トヨタ自動車東日本株式会社と連携し、AI活用技術を用いた生産現場の改善を推進

■ 支援企業 支援企業数: 2社程度

■ 想定する対象工程

- ダイキャスト製品の外観検査(基礎編)
- ゴムホース製品の外観検査(応用編②)



AI判定の例

ものづくりDX普及促進事業

技術開発
技術力強化

《技術開発・技術力強化支援の方向性》

最新の電動車を教材車両として活用し、デジタル設計技術やコンピュータシミュレーション技術の普及を図る

本格
始動

■最新電動車リバーズエンジニアリング

最新電動車を教材として機能・構造を調査・研究し、その結果を県内企業へ展開することにより技術提案を支援

構成部品のベンチマーキングとデータベース化

■デジタル設計・シミュレーション技術普及支援

構成部品のデジタルデータ化やCAEを活用する設計・開発の支援

■MBDセミナー、先進事例紹介

OEMやTier1企業によるデジタル設計技術に関するセミナーの開催

MBD推進センター(JAMBE)が主催する研修会への県内企業の受講斡旋



レクサスRZ450e

《広域連携の方向性》

- 東北地域の競争力の向上を図るため、東北地域全体での取組を継続
- 北海道などの周辺地域との連携も図り、スケールメリットを活かした活動を展開

とうほく自動車産業集積連携会議主催事業への参加や各県事業の相互開放

(例) 各県合同での自動車関連セミナー等の開催、宮城県が実施する「自動車部品機能・構造研修」の東北各県企業への開放

とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会等の開催 【再掲】



R7年度 自動車部品機能・構造研修



R7年度 とうほく・北海道 新パートナー／新事業創
生展示商談会

WEB・メーリングリストによる情報提供

連携推進

①HPを活用した本協議会事業及び関連情報等の提供

みやぎ自動車産業振興協議会・概要

自動車関連産業の集積を目指して

みやぎ自動車産業振興協議会は、県内の自動車関連企業・団体のネットワークづくりや関連情報の共有化等を行うことで、高度な技術力の集積、受発注機会の拡大を促進し、自動車関連産業の集積を図ることを目的として平成18年5月に設立しました。

平成24年5月には「みやぎ自動車産業振興プラン」を策定し、「受注獲得」「人材育成」「技術開発」を重点分野として位置付け、県内自動車関連企業の新規参入や取引拡大を推進してきたところであり、現在は600を超える会員様にご参画いただきながら、自動車関連産業の振興を図るための活動を実施してきました。

今般、同プランの計画期間が令和2年度末で満了したことを受け、新たな行動計画として「みやぎ自動車産業振興ビジョン」を策定しました。今後は、これまでの取組を継続させながら、「受注獲得・取引創出」「人材創出・育成」「技術開発・技術力強化」を重点分野として位置付け、富県宮城を支える県内自動車関連産業の更なる集積を目指し、各取組や事業を展開してまいります。

トピックス・関連情報

- 「令和7年度みやぎ自動車産業振興協議会講演会・交流会」を開催しました。
- 「令和7年度みやぎ自動車産業振興協議会総会」の書面開催の結果について
- 「令和7年度みやぎ自動車産業振興協議会講演会・交流会」を開催します。
- 「令和6年度みやぎ自動車産業振興協議会講演会・交流会」を開催しました。
- 「令和6年度みやぎ自動車産業振興協議会総会」の書面開催の結果について
- 「令和6年度みやぎ自動車産業振興協議会講演会・交流会」を開催します。
- 「令和5年度みやぎ自動車産業振興協議会総会・講演会・交流会」を開催しました
- 「令和5年度みやぎ自動車産業振興協議会総会」を開催します。
- 「令和4年度特別講演会」を開催しました
- 「令和4年度みやぎ自動車産業振興協議会総会」の書面開催の結果について

②メーリングリスト「MJK通信」を活用した、本協議会事業、展示商談会の開催情報、国・県・関係団体による各種支援制度などの情報提供

協議会の主な活動、事業内容

「受注獲得・取引創出」「人材創出・育成」「技術開発・技術力強化」を重点分野として位置付け、協議会活動を通じて、県内企業の新規参入・取引拡大に向けた支援を実施するとともに、生産性向上・競争力強化に向けた取組を推進します。

1.取引あっせん／展示商談会出展支援

県内企業の取引機会を創出するため、発注企業の情報収集や取引あっせん活動、展示商談会の開催、県内企業のQCD（品質・コスト・納期）向上を目指した生産現場改善支援等により、県内企業の受注獲得を支援します。

2.研修／セミナーの開催

自動車産業人材を育成するため、自動車の基本構造や構成部品の機能や構造を学ぶ研修や、自動車関連の技術開発動向や業界トレンドなどをテーマとしたセミナー等の開催を通じて、自動車産業への参入や業界理解に向けた情報を提供します。

3.アドバイザー派遣

自動車関連産業への新規参入・取引拡大を目指す県内企業に対し、自動車関連企業OBの「自動車産業振興アドバイザー」が多面的なアドバイス支援をさせていただきます。